

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	事業所と地域とのつきあいが少ない。 地域に対し、どの様な発信を施設側から行えば良いか。	地域密着サービスのあり方を皆で振り返り、施設のオープン化を図る。	地域の行事について、区長様・町内会長様・民生員様と連携を取り、交流参加の機会を把握する。また、外部からのボランティア慰問打診をし、交流の幅を広げる。	H26年 11月～ 施行中
2	4 (3)	運営推進会議を活かした取り組みに対し、内容に不十分さがある。	施設側からの発信だけではなく、参加していただいている家族様・地域の方々からの意見・助言を沢山飛び交う場にしたい。	家族様については、サイクル方式を用いて全入居者様のご家族が出席できる様案内している。今後も継続し会に参加する事での解消や、施設に対する意見・助言をいただく様努める。 また、面会時などの意見も会に取り入れ、内容を濃いものにする。	H26年 11月末～ 施行中
3	35 (13)	災害対策について、避難訓練時のリスクマネジメント。 災害時の職員の対応マニュアル強化。	避難訓練に祭し、安全・的確・短期間での誘導に努める。 全職員の災害に対する意識の向上を図る。	避難訓練実施時には、訓練と言えどもしっかりとした対応を行い学習する事。災害時の動きについて、職員で勉強会を用いる。よって、日頃から環境の設備点検や、危険個所を探る意識を持つ様促す。	5月頃 または、 11月頃を 予定。
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。